

2019年7月1日

報道関係各位

Bike Life Lab supported by バイク王  
(旧称: バイク王 バイクライフ研究所)

## Bike Life Lab supported by バイク王 『リセール・プライス』ランキングを発表 『カワサキ・Z900RS』が5連覇!

対象期間 2019年3月~5月

バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信することを目的に活動を行う『Bike Life Lab supported by バイク王』(旧称: バイク王 バイクライフ研究所、所在地: 東京都港区、運営: 株式会社バイク王&カンパニー)は、2019年3月~5月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』=『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。29回目となる今回は「カワサキ・Z900RS」が5連覇を達成しました。

◇『カワサキ・Z900RS』が  
当ランキング史上初の5連覇!

◇カワサキ・ZX-6R が初登場で7位獲得

◇スズキ・Vストローム 250 も初ランクイン



◇佐川健太郎氏 インプレッションムービー公開中

『リセール・プライス』ランキングにて、上位10車種にランクインしたモデルを始め、複数の人気車種をモーターサイクルジャーナリストの佐川健太郎氏にインプレッションしていただきました。詳しくは URL ( <https://www.8190.jp/bikelifelab/movie/shijou/> ) をご覧ください。

※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「Bike Life Lab 調べ」とご明記ください。

※本調査結果は、下記のサイトでも公開されております。

・Bike Life Lab supported by バイク王(<https://www.8190.jp/bikelifelab/news/resale-ranking/>)

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

### プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

Bike Life Lab (バイクライフラボ)

担当: 菊田、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail [bikelife\\_lab@8190.co.jp](mailto:bikelife_lab@8190.co.jp)

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当: 高島、小野

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail [bike-o@scramble.jp](mailto:bike-o@scramble.jp)

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

## ■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS	86.5Pt
2	カワサキ・Z1000	84.0Pt
3	ホンダ・Gold Wing Tour DCT	82.7Pt
3	カワサキ・Z900RS CAFE	82.7Pt
5	カワサキ・Ninja 250	81.3Pt
6	ホンダ・スーパーカブ C125	80.2Pt
7	カワサキ・ZX-6R	79.8Pt
7	ホンダ・レブル 250	79.8Pt
9	スズキ・Vストローム 250	77.0Pt
10	ホンダ・モンキー125	76.7Pt

◇対象期間 2019年3月～5月

29回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『カワサキ・Z900RS』が2位に2.5pt差を付け首位に輝きました。

カワサキ・Z900RSは、第25回(2018年7月2日発表)以降、首位の座を守り続けており、今回も首位を獲得したことで5連覇となりました。これまでの『リセール・プライス』ランキングの中で5連覇を達成したのは当モデルのみとなります。その要因として、これまでのリリースでも触れたように、多くのライダーに支持されていることに加え、市場に流通する個体は状態の良いものが多いため、オークション落札価格も上昇したためと考えられます。

また、今回のランキングでは、カワサキ・ZX-6Rが初登場7位にランクインしました。当モデルは2018年12月1日のモデルチェンジに合わせて国内仕様が発売され、当ランキングの対象モデルとなりました。特徴として、一般的な600ccクラスのスポーツよりも大きい636ccの排気量に起因する余裕のある走行性能や、カワサキクイックシフター(シフトアップ時のみ)の採用、LEDヘッドライトやETC2.0を標準装備するなど、サーキット走行だけでなく、ストリートでの扱いやすさも兼ね備えています。発売から約半年となり、中古車市場へ流通し始めたばかりであることによる高値傾向であると推察されます。

今後、梅雨から盛夏へと季節が移り変わる中、引き続き『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

## ■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・スーパーカブ C125	80.2Pt
2	ホンダ・モンキー125	76.7Pt
3	ホンダ・モンキー125 ABS	74.5Pt
3	ホンダ・PCX	74.5Pt
5	ホンダ・クロスカブ 110	73.8Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja 250	81.3Pt
2	ホンダ・レブル 250	79.8Pt
3	スズキ・Vストローム 250	77.0Pt
4	ヤマハ・セロー250	76.4Pt
5	ホンダ・CRF250L	76.2Pt

## ・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CBR400R ABS	76.1Pt
2	ホンダ・CB400 SUPER FOUR ABS	73.2Pt
3	ヤマハ・YZF-R3	64.3Pt
4	カワサキ・Ninja 400	58.7Pt
5	スズキ・バーグマン 400 ABS	57.6Pt

## ・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS	86.5Pt
2	カワサキ・Z1000	84.0Pt
3	ホンダ・Gold Wing Tour DCT	82.7Pt
3	カワサキ・Z900RS CAFE	82.7Pt
5	カワサキ・ZX-6R	79.8Pt

### ■『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2019年7月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間約11万台の取り扱い台数を誇る『バイク王』のデータを基に、Bike Life Labが独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

### ■算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2019年7月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2019年7月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・期間内に、Bike Life Lab独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

### 【Bike Life Lab supported by バイク王について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織であり、2017年3月からは「Bike Life Lab (バイクライフラボ)」というバイクコンテンツサイトを運営しております。

この2月より、ライダーにとってより身近で、より強固なエンゲージメントを持った情報発信組織に成長していくために、「バイク王 バイクライフ研究所」を「Bike Life Lab supported by バイク王」に名称変更し、併せてバイクコンテンツサイト名も「Bike Life Lab supported by バイク王」に統合しました。

Bike Life Lab supported by バイク王は、バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信していくことで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

Enjoy Life with Bike

バイクがあれば もっと楽しい

**Bike Life Lab**  
supported by **BIKE 王**